

あなたの輝きで、
笑顔と喜びの輪が広がる。



受賞者紹介

キラリふくしま介護賞は、他の介護職員や介護職を目指す学生等の目標や憧れとなる働き方を実践している介護職員及び介護職員の労働環境・処遇改善等について優れた取組を行っている介護施設等を表彰することにより、福島県内の介護施設等に勤務する介護職員の仕事に対するやりがいやモチベーション、さらには職場定着率の向上を図り、介護人材の確保・定着・イメージアップにつなげることを目的に実施しています。

主催 福島県

第5回キラリふくしま介護賞 受賞者一覧

介護職員表彰

ページ	名前	施設名(市町村)
06	吾妻千恵美	特別養護老人ホーム 光の森の丘(郡山市)
07	阿部絵美里	特別養護老人ホーム たまかわ荘(玉川村)
08	伊藤光滋	特別養護老人ホーム 梁川ホーム(伊達市)
09	遠藤 奨	介護老人保健施設 ゴールドメディア(郡山市)
10	大内勇輝	介護付有料老人ホーム カーサ・ヴェッキオ(郡山市)
11	大竹里穂	特別養護老人ホーム 会津みどりホーム(会津若松市)
12	小林大樹	地域密着型特別養護老人ホーム うねめの里はるひめ(郡山市)
13	紺野香織	地域密着型特別養護老人ホーム 国見の杜(国見町)
14	齊藤宏樹	特別養護老人ホーム 宮川荘(会津美里町)
15	佐藤愛香	介護老人保健施設 プライムケア桃花林(伊達市)
16	佐藤賢二	さかえライフハート安積(郡山市)
17	佐藤尋佳	特別養護老人ホーム 信夫の里(福島市)
18	佐藤美智子	ショートステイ 国見の里(国見町)
19	佐藤雄士	介護老人保健施設 ケアフォーラムあづま(福島市)
20	佐藤由紀	特別養護老人ホーム あづまの郷(福島市)
21	佐藤里奈	ひまわりデイサービスセンター(南相馬市)
22	鈴木明衣	特別養護老人ホーム 幸寿苑(いわき市)
23	須藤淑子	グループホーム リブレ松川(福島市)
24	高木直美	特別養護老人ホーム 星風苑(伊達市)
25	西牧なるみ	特別養護老人ホーム さくらの里(田村市)
26	長谷川彩愛	特別養護老人ホーム ほほえみ(喜多方市)
27	長谷川桜子	特別養護老人ホーム 南東北グランプラス八山田(郡山市)
28	原 彩花	特別養護老人ホーム コクーン(桑折町)
29	檜澤友視	グループホームすずらん紡(須賀川市)
30	三浦美佳	特別養護老人ホーム 孝の郷(伊達市)
31	水口佳愛	特別養護老人ホーム ファミージュ(伊達市)
32	吉原 翼	介護付有料老人ホーム 多生苑西栄町(会津若松市)
33	蓬田明美	特別養護老人ホーム 国見の里(国見町)
34	渡部友太	特別養護老人ホーム あつかし荘(桑折町)
35	渡部祐実	養護老人ホーム 希望ヶ丘ホーム(郡山市)

(五十音順・敬称略)

介護施設表彰

ページ	施設名(市町村)
38	社会福祉法人安積福祉会 特別養護老人ホーム カーサ・コリーナ(郡山市)
40	社会福祉法人篤心会 特別養護老人ホーム 孝の郷(伊達市)
42	特定非営利活動法人豊心会 グループホームすずらんあかり(須賀川市)
44	特定非営利活動法人豊心会 つくしデイサービス(須賀川市)
46	社会福祉法人南相馬福祉会 福寿園デイサービスセンター(南相馬市)



介護職員表彰 概要

他の介護職員や介護職を目指す学生等の目標や憧れとなる働き方を実践している介護職員の方を表彰します。

対 象

- ①福島県内に所在する老人福祉法（昭和38年法律第133号）第五条の二、第五条の三、第二十九条並びに介護保険法（平成9年法律第123号）第八条に定義された施設及び事業所（以下「施設等」という）に勤務しており、介護職としての従事年数が推薦基準日（当該年度4月1日）で5年以上10年未満の方、かつ、推薦基準日に介護職員として勤務している方（管理者の立場にある方を除きます）。
- ②介護福祉士の資格を有する方又は介護職員実務者研修若しくは介護職員初任者研修を修了した方（同等の研修を修了した方も含みます）。
- ③次の全てに該当する方
 - ア ご利用者やそのご家族に対する対応が優れている方。
 - イ 新人職員や後輩職員への指導及び助言に積極的に携わっている方。
 - ウ 職員同士のチームワーク向上に貢献している方。
 - エ 介護の仕事に積極的に取り組んでいる方。



介護職員表彰

受賞者30名を紹介いたします

※写真は各施設より提供されたものを掲載しております。
撮影時のみマスクを外しております。



ココがキラリ!

利用者様を注意深く見る観察力や、広い視野で物事を見て考えることができます。誰とでも分け隔てなく積極的にコミュニケーションを図る彼女はチームケアをする上で大きな存在で、とても頼りになっています。

(上司の方より)

一つひとつの行動に「なぜ?」と疑問を持つことです。根拠を知ろうとすることで、ケアのヒントに繋がると思うからです。また、利用者様の生活歴や関わりの中でどんな方なのかを知ること。「自分がされて嫌なことほしくない」から、「利用者様ならどう思うのか」に繋がっていくことで個々の対応ができると思います。一人ひとり

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様ならどう思うのかを考え個々の対応をする

特別養護老人ホーム 光の森の丘
吾妻千恵美さん



好きな食べ物

蕎麦・梨

性格が違う利用者様を知ろうと思ふ気持ちが相手にも伝わると思っています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

思っていることをそのままにしないこと。自分達がいいと思うケアをみんなで行っていると思うので、それを考えながら疑問なことは聞き、提案していきます。

介護の仕事では、いつ何が起るかわからず、次の日には会えないかもしれません。利用者様はもちろん、自分達にとっても悔いを残すことがないよう「今」を大切に、毎日の仕事や利用者様と向き合っています。

若手職員へメッセージ

介護は大変な事も多い職業だと思いますが、「誰かのため」を大切にできる仕事だと思



います。決して一人でできるものではなく、周り協力しながらケアをしていくことが大切です。利用者様本人だけでなくご家族にも目を向け、なぜ介護が必要なのかその根本を考えながら、一人ひとりに合ったケアをしていくことがこの仕事の醍醐味なのではと思います。この仕事をしているといういるな出来事に直面すると思います。周りの方々を頼りながら福祉を支えてほしいなと思います。



ココがキラリ!

いつも明るく笑顔を絶やさず、元気に利用者様とコミュニケーションを図り、利用者様の少しの体調変化等にもいち早く気付くことができます、とても頼りになる絵美里さんです。今後の更なる成長や活躍を期待します。

(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

主にショートステイの利用者様との関りが多い中、「たまかわ荘を利用してよかった」と思っていただけのように、明るく笑顔で接することを心掛けています。また、会話の中のちょっとした表情や利用者様の変化にも注意を払い、快適にたまかわ荘を利用していただけるよう、日頃から利用者様とのコミュニケーションの時間を大切にしています。

います。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

職員同士、お互いに気持ちよく仕事をすることが出来るように、日頃から「お疲れ様です」「ありがとうございます」「ありがとうございます」等と、労いと感謝の気持ちを伝えることを大切にしています。また、変則勤務なので日々の申し送り等報告・連絡・相談をしっかり行うことや、他職種間においても積極的にコミュニケーションを図ることを心掛けています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は誰かの人生の最期に立ち会うことであり、一般的な仕事では、なかなか経験できないことがたくさんあります。大変なことや辛いことも多い仕事ですが、利用者様から

特別養護老人ホーム たまかわ荘

阿部 絵美里 さん

会話の中のちょっとした表情や変化にも注意を払う



好きな食べ物

お肉! 甘いもの!!

「ありがとうございます」「あなたで良かったわ」と感謝の言葉を耳にするたびに、利用者様の満面の笑顔を見るたびに、とてもやりがいを感じ、「介護の仕事を選んで良かった」「頑張ってきた良かった」と心から思い、力が湧いてきます。皆さんもぜひやりがいを見つけて、一緒に頑張ってみませんか?





ココがキラリ!

言葉遣いや対応も丁寧で利用者様に対しても優しく接し、とても信頼されています。一人一人に寄り添い良いケアを考えて対応している姿は後輩達にもよい影響を与えています。

(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様の目線に合わせて表情を確認しながら笑顔で接すること、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごして頂ける環境作りを大切にしています。自分自身の心にゆとりを持つことも大切にしていきます。これからも利用者様が安心して過ごしていただけるよう、豊かな心で接し、利用者様に寄り添った柔軟な対応や声掛けを

大切にしていきたいです。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

利用者様の情報を共有して一人ひとりに合ったサービスを提供したいと思っています。そのために「報告・連絡・相談」を忘れず、職員同士のコミュニケーションを多くとり、相手の立場や意見を尊重し思いやりをもつことが大切だと思います。誰にでも得意なことや不得意なことがあると思うので、良い面に目を向けて補い助け合っていていきたいです。

若手職員へメッセージ

大変なこと、うまくいかないこともあると思います。一人で抱え込まず先輩職員を頼って下さい。人に話すことで気持ち楽になるかと思えます。

介護の仕事は、利用者様の一

豊かな心で接し、利用者様に寄り添った柔軟な対応を

特別養護老人ホーム 梁川ホーム

伊藤光滋さん



好きな食べ物

ラーメン、りんご

身近くで人生の一部や最期に立ち会うことができ、やりがいを感じるができます。人間としても大きく成長させてもらえます。

自分自身の心と体が元気であることも大事だと思います。ストレスを溜め込まないようにしっかりと休養をとり長く仕事を続けられるように一緒に頑張ってくださいませ。





ココがキラリ!

どんな状況でもいつも変わらず利用者様に優しく接する姿はチームの見本となる介護士です。尊厳を忘れず、寄り添うことの大切さをチームに姿勢で見せてくれています。
(上司の方より)

利用者様は様々な事情により、住み慣れた家やご家族の元から離れて施設で生活を送っています。少しでも安心して生活ができるよう、そして利用者様との信頼関係を築くことができるように、寄り添う姿勢を忘れずに接することを大切にしています。また、施設内ではリハビリの時間も限られています。日常生活全てがリハビリとなります。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様の状態に合ったケアを

うに、利用者様の状態に合ったケアを心掛けています。

遠藤

奨さん

介護老人保健施設 ゴールドメディア

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

当施設では、介護職員だけでなく医師やリハビリ職員等、様々な専門職がいます。1人の利用者様に対して、様々な専門職がチームとなって支えられるように、情報の共有が大切になります。そのため、職員とコミュニケーションを多く取り、利用者様にとってより良いケアをチームで行えるように心掛けています。また、カンファレンスでは様々な意見が出ます。どの意見も尊重し、チーム全員で良いケア提供を心掛けています。

若手職員へメッセージ

介護という仕事は、介護を必要とする方の人生に携わる事ができる素敵な仕事だと思っています。



まず。介護を必要とする方からの「ありがとう」と感謝された時や家に帰る際の満面の笑顔を見た時等、やりがいを感じる事が多いです。もちろん、楽しいことばかりでなく、大変なこともあります。そんなとき私は先輩方に相談をしたり、同期と思いつきり遊んでストレスを発散し、乗り越えてきました。皆さんも悩んだ時は、1人で抱え込まないでください。これから一緒に介護業界を盛り上げていきましょう!



好きな食べ物
アップルパイ



ココがキラリ!

誰にでも優しく声を掛ける姿を見る度に、介護者としての温かな雰囲気を感じていました。これからも入居者様の気持ちに寄り添える介護者として笑顔をたくさん見せてくれる事を期待しています。
(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

入居者様と関わる上で大切にしている事は、人生の先輩として尊敬の気持ちを忘れず入居者様に寄り添う事です。常に相手の立場になって考え、気持ちに寄り添いどう支援するか考え、入居者様が笑顔で安心して生活を送れるようにサービスを提供したいと考えています。また、日々の何気ない日常会話の中で、ちょっとした体調の変化や

おお うち ゆう き
大内 勇輝 さん

介護付有料老人ホーム カーサ・ヴェツキオ

尊敬の気持ちを忘れず入居者様に寄り添う

気持ちの変化に気づく事も有り信頼関係に繋がるので日常会話を絶やさないことが大切だと思っています。

職員同士のチームワーク 向上に心がけていること

自分から声を掛ける事によって話しやすい、相談しやすい周りに頼れるような関係を築くようにしています。また、業務の事だけでなくプライベートの話をしたり、普段から積極的にコミュニケーションを図るよう心がけています。自分では気づけない他職員からの意見をしっかりと聞いて、より良いサービスを提供できるように迅速に対応できるように努めています。

若手職員へメッセージ

最初は介護をしていて不安な事や、大変だなと思う事は沢山



好きな食べ物
焼肉、ラーメン、寿司。



あると思います。沢山挑戦し経験しながら失敗して悩みますが、この仕事は本当に周りの仲間と助け合ってこそその職業だと思っています。自分がそうだったからです。壁にぶつかった時は一人で何とかしようと思わず、沢山周りの仲間を頼って下さい。そして介護だからこそその魅力や、やりがいをとて感じることが出来ると思います。後は頑張りすぎず、時には息抜きを一緒に一緒に仕事に励んでいきましょう。



ココがキラリ!

大竹さんは、いつも丁寧な対応で利用者様と真摯に向き合っています。また性格的にも真面目で上司や同僚からの信頼も非常に厚くとても頼りになる存在です。
(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様のお話をしっかりと聴く事を心掛けています。私の職場でも、認知症を有する利用者様が多くいらっしゃいます。一見すると、1つ1つの行動には意味がないと感じますが、その行動や言葉をしっかりとアクセスメントする事で本当に必要な支援に繋がるのだと思います。私たちからしたら小さな事でも、その1つ1つの行動や言葉の意

「心の声」をしっかりと聴く事を大切に

特別養護老人ホーム 会津みどりホーム

おお
たけ
り
ほ
大竹里穂さん

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

味を理解し、利用者様の「心の声」をしっかりと聴く事を大切に
して業務を行っております。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は楽しくやりがいのある仕事だと思っています。しかし、楽しい事ばかりではあ

利用者様の話を聞く事はもちろん大切ですが、併せて一緒に働く職員の話もしっかり聞くことも重要だと感じます。職員一人一人の意見をしっかりと聞き、悩みや不安を一緒に解決することで、安心して業務を行う事が出来ると思います。その職員の声をそのままにせず、どんな小さな悩み・不安も「我が事」と捉え、一緒に考え解決していく事を心掛けて業務を行っております。

りません。それは、利用者様の人生をサポートする仕事だからです。特に、ケアの方針が難しい利用者様の対応には悩んでしまった事もありました。しかし、介護は一人で行う仕事ではあません。私の周りにも先輩や同僚など多くの仲間がいます。決して諦めず関わりを持ち続けることで、必ずより良い関係性を築く事ができます。利用者様に楽しい生活を送って頂くために、利用者様をケアする職員が「楽しく・元気に！」仕事をやっていきたいと思います!



好きな食べ物

こづゆ





ココがキラリ!

入居者様一人ひとりのニーズや状況を細かく理解し、それに応じた最適なサポートを提供するために努力し、ご家族様とのコミュニケーションも大切にし、常に開かれた対話を通じて信頼関係を築いています。(上司の方より)



入居者様と関わるうえで大切にしていること

うねめの里はるひめでの暮らしが「楽しい」「安心」「ここでよかった」と思っていただけのように、入居者様に寄り添うことを毎日心がけ、いつでも目線を合わせ会話し、信頼されるよう支援をさせていただいています。入居者様に対しては毎日感謝の日々ですが、これまで力を合わせた仲間に取り組んでくれた仲間にも感謝しています。



職員同士のチームワーク向上に心がけていること

職員一人ひとりの意見を尊重しながら、チーム全体の目標達成に向けた具体的な対策を、チームのみんなと一緒に考えています。また、課題が発生した際には迅速に対応し、多職種との連携を強化することで、効果的な解決策を見出すことができます。のように心がけています。



若手職員へメッセージ

「入居者様を中心に思いは一つ」の気持ちで、何でも言い合える仲間、フォローし合えるチームを目指し、寄り添うことを心がけています。これからも、職員間の意見交換や情報共有を積極的に促進していきたいと思うので、改善点やより良くしたいと思ったことは遠慮せず、どんどん提案していきましょ。

地域密着型特別養護老人ホーム
うねめの里はるひめ

小林 大樹 さん

寄り添うことを毎日心がけ入居者様と関わる



好きな食べ物
大きいジュシーな唐揚げ、
こってり系ラーメン





ココがキラリ!

香織さんは、明るく元気に入居者様へ挨拶し、笑顔で話しかけていて、自然に周りも笑顔になります。仕事においてもまじめで一つ一つの仕事に丁寧に取り組んでいます。リーダー的存在となれるよう活躍を期待します。

(上司の方より)

声かけを行う際は、入居者様に驚きや警戒心を与えないように注意し、介助を行うように心がけています。誠心誠意を持って接し、入居者様が興味のあることが出来るように、日常生活をサポートするように努めています。入居者様に安心安全に生活して頂けるように配慮し、笑顔が絶えない生活を送って頂けるように努めています。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

誠心誠意を持って接し、日常生活をサポート

紺野香織さん

地域密着型特別養護老人ホーム 国見の杜

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

職員同士がコミュニケーションを取りながら仕事に励み、入居者様の細かい状態変化も情報共有を行い、チーム一団として取り組めるように話しやすい環境づくりに取り組んでいます。職員同士の健康状態にも気を配るよう気をつけています。悩みや相談にも耳を傾け、手を差し伸べて職員のモチベーションを上げることが出来るような環境づくりに取り組んでいます。

若手職員へメッセージ

腰を痛めないように、ボディメカニクスを活用し、腰痛予防の体操を行い、定期的な体のメンテナンスを行うと、身体を壊さず、仕事を頑張れます。分からないことは後回しにせず、先輩職員に質問して、分かるまで聞いて理解を深め、1人で抱え



好きな食べ物

甘いもの全般、麺類。

込まず、先輩方へ助けを求め一つ一つ問題を解決するように心掛けて頂きたいです。介護の仕事は、やりがいを感じる事が多くあり、達成感を感じられる仕事です。私たちとこれからの介護を一緒に考えていきましょう。



ココがキラリ!

いつも笑顔で、前向きな姿勢で利用者様や職員と関わっています。

また、常に業務改善や様々な取り組みをしてもらっています。今後もぜひ続けていてもらいたいと思います。

(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

「まごころと優しさ」です。その為に普段から笑顔を忘れず、挨拶や声掛け等、常に心掛けて行っています。また利用者様一人一人に合わせたケアや、その方らしい生活を送って頂くには、どのような支援、ケアが必要か等、介護職員や多職種と連携を図り、よりよいケアに繋がられるよう日々のコミュニケーションを大事にして

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

まずは各職員が働きやすく、働き続けたいと思える環境、「仕事は楽しく！」を心掛けています。その為には、挨拶はもちろん、感謝の気持ち「ありがとう」をしっかりと伝える事にしています。また、職員とコミュニケーションをとり、利用者様の情報共有や、業務内での悩みや課題について皆で考え改善していくことがチームワークの向上に繋がると思っています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は辛いことや苦しいこと、悩むことが多い職業です。しかし、その反対に嬉しいこと、楽しいこと、やりがい、魅力等：たくさん詰まっている職業だと思えます。利用者様が

ロボットにはない、「まごころと優しさ」を大切に

います。



好きな食べ物

白米

らの「ありがとう」という言葉には凄まじいパワーが秘められています。私も幾度となくその言葉に救われてきました。現在の介護業界は人手不足が深刻化しており、ICT化を取り入れる事業所も増えていきます。ロボット（ICT）にはない、「まごころと優しさ」を大切に、皆さんと一緒に介護業界を盛り上げていきたいと思えます。





ココがキラリ!

いつも笑顔で、利用者様・ご家族様・同僚職員に接している様子がみられています。職場では後輩から頼りになる「お姉さん」、先輩からは施設のこれからを担う大切な「妹」、家庭では優しい「お母さん」です。本当にみんなから愛されているスタッフだと思います。ますますのご活躍を期待しています。受賞おめでとうございます! (上司の方より)

私が大切にしていることは、言葉使いはもちろんですが、笑顔で明るく元気に接することです。笑顔を大切に挨拶やコミュニケーションを図ることで利用者様との信頼関係にも繋がります。信頼関係を保つためにも、利用者様一人ひとりの気持ちに寄り添い、常に思いやりを持ちながら、安心して施設生活を過ごして頂けるよう、日々心掛けています。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様の気持ちに寄り添い笑顔で接する

介護老人保健施設 プライムケア桃花林
佐藤 愛香 さん

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

仕事をする上で困ったことや問題があった時には、まず一人で悩まず、上司や同僚に「報告・連絡・相談」を速やかに行うことを心掛けています。情報共有から意見を出し合い、多職種での連携を図ることで、問題の解決もより早くなります。多職種間での利用者様の状態把握はとても大切であり、チームワークの向上に繋がるのではないかと思います。

若手職員へメッセージ

介護の仕事と聞くと、「大変そう」「できない」というイメージを持たれている方が多いと思います。大変なこともたくさんありますが、とてもやりがいのある仕事だと感じています。日々の業務の中で、利用者様から名前を呼んで頂き、笑顔で



好きな食べ物
お寿司

「ありがとう」「いつも頑張っているね」「身体に気をつけてね」など、声を掛けて頂いていきます。私自身がとても嬉しく励みになり、頑張ろう!という気持ちがいかに繋がります。一緒に頑張りましょう!





ココがキラリ!

園芸が得意で花や野菜をプランター等で育て利用者様からも好評です。年長者という事もあり利用者様や職員からも慕われ、声もかけやすくてもいい雰囲気を作りながら仕事に取り組んでいます。
(上司の方より)

常に笑顔で接する様に心掛けています。日々安心して生活が出来るお手伝いに笑顔ほど大事な事はないと実感しています。また、声掛けが大切と考え信頼関係を築く上での第一歩として思いやりを持って利用者様に寄り添い快適な生活が送れる様に努めています。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

日々の介護の仕事の中で戸惑い、失敗等で心が折れる様な事が多々あると思いますが、自分だけではなく誰もが経験し体験する事だと言いつつも、どんなに小さな事でも相談出来る先輩を作って、困難を乗り越えて前向きに頑張りたいと思います。きっと利用者様からの「ありがとう」や「笑顔」に助けられると思います。

若手職員へメッセージ

職場内では最年長なので誰からも信頼される様に仕事以外のコミュニケーションも積極的に取りながら、話しかけ易い雰囲気作りを努めています。利用者様だけでなく職員に対しても「声掛け」を忘れず、自分の体験を踏まえながらアドバイスしたり一緒に考えたりしています。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

利用者様はもちろん職員に対しても「声掛け」を

さかえライフハート安積

佐藤 賢二 さん



好きな食べ物
お寿司・桃





ココがキラリ!

常に職員や利用者様への対応が丁寧なところが良いところだと思います。自分のコンディションも日々変わっていくと思うのですが、態度や声掛けの仕方がいつも安定されていてしっかりプロ意識を持って取り組まれているのだと思うので、今後も長所をいかして頑張ってください。
(上司の方より)

利用者様と会話するときの視線や声のトーンを一人一人に合わせて意識して変えています。耳が聞こえづらかったり、言葉が出にくい方などさまざまなので、まずは相手のペースを知り合わせるようにしています。また今はマスクで表情が見えづらいので、不安にならないよう表情や仕草にも気を付け、これからも安心して頂けるような言葉

利用者様と関わるうえで大切にしていること

不安にならないよう表情や仕草にも気を付ける

特別養護老人ホーム 信夫の里
佐藤 尋佳 さん

かけをしていきたいです。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

些細な事でもコミュニケーションをとるようにしています。話しかけにくい雰囲気だと相談しづらくそのままになってしまった経験があるので、手の空いた時などを利用して意見や悩みを聞いたり、職員同士意思疎通を図りながら利用者様の情報共有をしています。サブリーダーとしてまだまだ未熟で周囲からたくさんサポートしていただいているのでみなさんへの感謝を忘れずに仕事に取り組みたいです。

若手職員へメッセージ

覚える事や大変な事がたくさんあると思います。しかしその中で「この方はどうしてこのケアなんだろう」「これは何の為



私自身、今でも悩みや落ち込む事がありますが、利用者様の笑顔を見るとやりがいを感じ、今も介護の仕事が続けられているのだと思います。大変な事も前向きに考え、やりがいを見つけていこうと思っています。

「やるのか」等の気づきを大切にして下さい。そしてその気づきを声に出すのも成長に繋がると思っています。



好きな食べ物
塩パン、砂肝



ココがキラリ!

美智子さんは、常に穏やかで入居者様に優しい声掛け、対応をして頂いていてユニット内の雰囲気もとてもいいです。また、その入居者様個々のケア提供を考えてもらったり、お手伝い頂いています。これからも皆の手本となるよう業務を行ってほしいと期待しております。

(上司の方より)

介護の仕事は大変なことがあるかもしれませんが、頼られたり、感謝される事も多くあります。「ありがとう」と言って頂いたりすることもあり、やりがいを感じています。この介護の仕事は、入居者様とのかかわりの中で、日々成長している仕事だと思えます。一緒に頑張っていきたいと思います。

若手職員へメッセージ

職員間でのコミュニケーションを大切にしています。自分の考えを相手に伝える事で、自分で間違った判断をする前に相手からアドバイスをもらったり、意見を頂いたりして情報の共有もできます。お互いにコミュニケーションをとり、信頼できる関係を築くことを第一に心掛けています。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

自分の気持ちに余裕を持って入居者様と接する

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

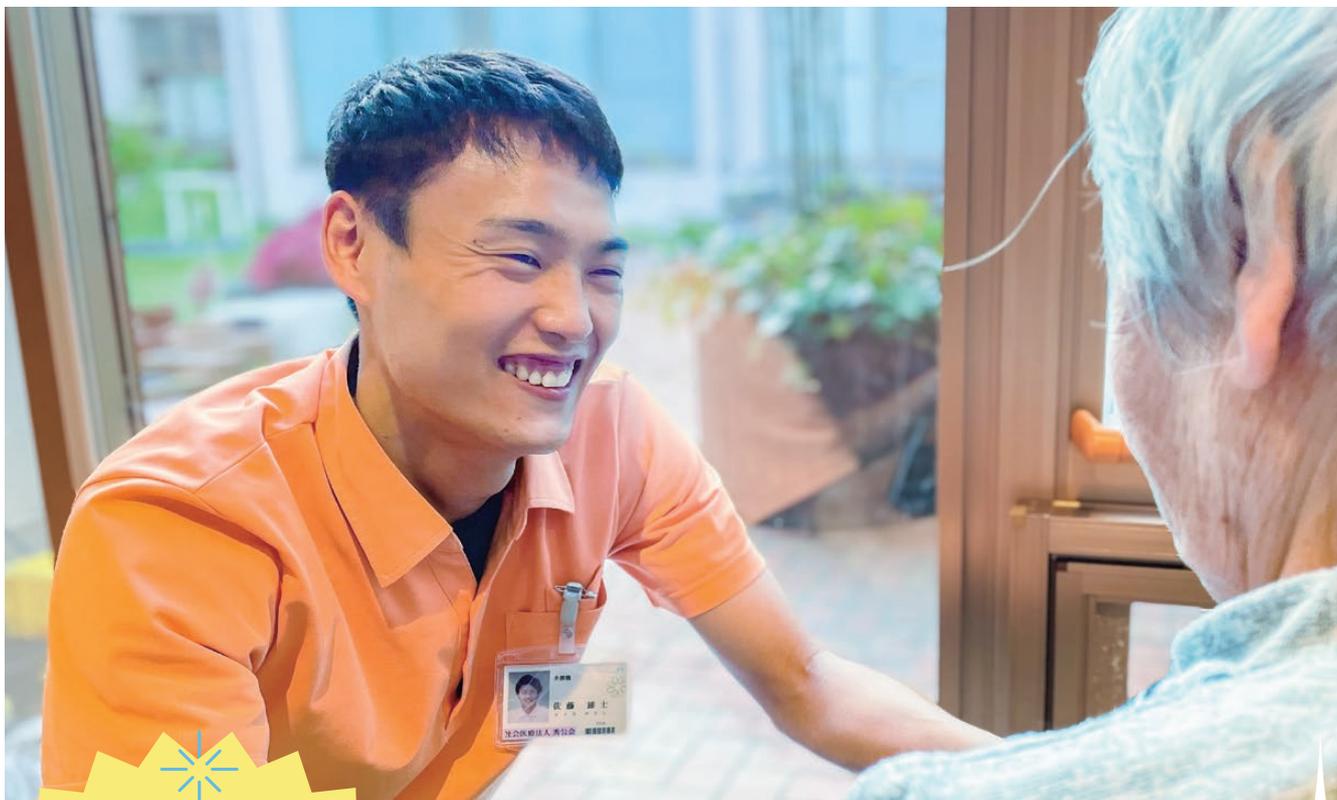
ショートステイ 国見の里
佐藤 美智子 さん



好きな食べ物

甘い物





ココがキラリ!

太陽のような笑顔と和やかな雰囲気と安心感があり、利用者様と同じ目線で丁寧に接していて人気者です。介護リーダーとして責任感が強く、何事にも積極的で信頼も厚く、介護の質の向上に貢献しています。

(上司の方より)

一人ひとりの思いや考えを尊重し、利用者様の思いを汲み取れる様に日々業務を行っています。利用者様の気持ちに寄り添いながら施設での療養生活の中で、楽しみや「ここで生活が出来て良かった」と思ってもらえるように考えながら対応をしています。どうすればよりよい生活を送れるのか、日々考え接するなかで、利用者様から様々な

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様と接する中で自分も成長ができる

介護老人保健施設 ケアフォーラムあづま

佐藤雄士さん

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員一人ひとりが多くの意見や考えを話す事ができるような雰囲気や環境作りが大切だと思います。若手やベテラン関係なく、なんでもすぐに話しかけたり、意見交換ができることで、より利用者様の生活の質の向上や、よりよいケアに繋がると考えています。その為に日頃からコミュニケーションを密にとる事ができるようにしたいと思っています。

若手職員へメッセージ

失敗を恐れずに利用者様の為になにをすればよいか、なにをすべきなのか日々一緒に考え、

事を学ぶ事も多いです。人生の先輩でもある利用者様と接する中で自分も成長ができるように日々心掛けています。

話し合い、よりよい介護職員に共になれるように、これからも一緒に頑張っていきたいと思っています。これからもたくさん利用者様を支え合えるように、同じ介護職員として働いていきたいと思えます。私個人としてもこれから成長できるように、また、事業所としてもたくさん利用者様に寄り添い、信頼してもらえそうな場所にしていくことができるように、これからもよろしく願います。



好きな食べ物
カレーライス



ココがキラリ!

由紀さんは、手先が器用で、手芸や小物作りが得意です。施設内の壁画や、利用者様への誕生日カードの作成などのアイデアを出し、積極的に作成してくれます。施設内には、あちこちに手作りの壁画や小物が飾られ、利用者様の生活に彩りを与えてくれます。

(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様と信頼関係を築くために、コミュニケーションをとることを大切にしています。一人ひとりに合わせた声掛けやケアを行い、言葉だけでなく表情や行動から困っていることや不安な気持ちに寄り添いながら支援を行っています。法人理念の「人にやさしい人権尊重」の考えのもと、思いやりの気持ちで接すること、相手の立場に立つ

不安な気持ちに寄り添いながら支援を行う

て考え行動することを心がけ、利用者様に安心してケアを任せて頂けるよう努めていきます。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

チームワークの向上のために心がけているのは、「報告・連絡・相談」をこまめに行い、情報共有することです。どんな些細なことでも気軽に話せる雰囲気を作り、相手の話は否定せずに聞くようにしています。また、グループノートを活用して意見交換を行い、グループの職員で協力して、より質の高いケアが行えるよう取り組んでいます。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は、誰かの役に立ち支えになることができるところが大きな魅力だと思います。日々の関りの中で、笑顔が見ら

特別養護老人ホーム あづまの郷

佐藤 由紀 さん



好きな食べ物

苺とビール

れたり、感謝の言葉や労いの言葉をかけていただいたりすることが励みになりやりがいを感じることができますし、人生の大先輩でもある利用者様からは学ぶことも多く人間としても成長できると思います。困難なことや失敗することもあると思いますが、一人で抱え込まず上司や先輩、同僚にどんどん相談して前向きにがんばってください。





ココがキラリ!

いつでも朗らかで職場の雰囲気や人を良くしてくれる大切な存在です。里奈さんを見つめる利用者様は皆さん「えびす顔」になっています。利用者様だけでなく、職員もその優しさに癒されています。
(上司の方より)

元気な挨拶をすることを心掛けています。挨拶は相手を見て行うので、その日の体調や普段との違いを見たり、その日の1日を気持ちよくスタートするためにとても大切なことだと思います。また、利用者様の今までの人生の経験談に耳を傾けながらその方に寄り添い、安心感を持っていただけるよう穏やかな表情や声、常に相手の立場に立って思いやりの気持ちを持つ

利用者様と関わるうえで大切にしていること

自分の心が健康であるからこそ、良い支援に繋がる

ひまわりデイサービスセンター
佐藤 里奈さん

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

姿勢や態度で関わることを意識し、信頼関係に繋がるよう心掛けています。

職員同士がしっかりと利用者様の情報を共有し、その方が安心・安全な生活を送られるためには、どのような支援を行うべきなのかチームで考え、偏りがない支援を行うことで質の高いサービスに繋がると思っています。「報告・連絡・相談」を大切に、疑問に思ったことや不安なこと等声を掛け合い、助け合いながらチームワーク向上に努めています。また、プライベートの話もしながら前向きに仕事に取り組めるよう明るい雰囲気作りも大切にしています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は体力、精神面と



もに大変な仕事ではありませんが、利用者様の生活を支え、日々かかわっていく中で笑顔が見られたり、逆に利用者様から元気をいただいたり、身近でその方と「喜び」を共有できるとてもやりがいのある仕事です。時に、立ち止まる時もあります。経験として学びになり成長へと繋がると思っています。自分の心も健康であるからこそ、良い支援に繋がると思うのでプライベートと仕事にメリハリをつけて利用者様と過ごす1日1日を大切にしていきたいです!



好きな食べ物
お寿司、シフォンケーキ



ココがキラリ!

日々の利用者様とのコミュニケーションでケアの提案が出来ているため信頼し任せています。また、対応の判断が迅速なため業務もスムーズに行えています。

(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

信頼関係を築くためにもコミュニケーションを大切にしています。声のトーンや表情・目線を合わせることに気をつけています。また、利用者様の生活歴を知り、残存機能を生かしたケアをするためにできることはなにか考えています。日々安心して過ごしていただけるよう、笑顔で思いやりをもって接し、利用者様に寄り添いながら関わることを心がけています。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

利用者様一人一人に対し、日々の状態観察を行い、常に職員同士で情報共有することを意識しています。また、人と関わる上で謙虚さを忘れないようにしています。価値観や考え方はそれぞれ違うため、自分と異なる意見もありますが、耳を傾け受けとめることを心がけています。職員同士の関係性をより良く保つために、「コミュニケーションを図り、お互いが気軽に相談し合える雰囲気作りを大切にしています。」

若手職員へメッセージ

初めは覚えることも多く余裕がなくなる時があると思いますが、一人で抱え込まず身近な先輩職員に話すことや、アドバイスをもらうことで気持ち楽になると思います。私自身、まだ

声のトーンや表情・目線を合わせ利用者様に寄り添う



好きな食べ物
チーズケーキ



まだ学ぶことも多く、上司や同僚から沢山学ぶことで、自分自身の成長に繋がっています。介護の仕事は体力・知識が必要であり、大変だと感じることも多いと思いますが、利用者様との関わりを通して信頼関係を深めたり、感謝の言葉をもらうとやりがいを感じ、嬉しさ・楽しさがあります。介護の道は魅力もあり、誇りをもてる素敵な仕事だと思います。

特別養護老人ホーム 幸寿苑

鈴木 明衣 さん



ココがキラリ!

その細身の身体のどこからエネルギーがわいてくるんだろうと感心してしまうくらい元気いっぱい!入居者様一人ひとりに目を配り、明るく話しかけ、笑顔を引き出そうと頑張る須藤さんの姿は輝いていますよ!ともに頑張りましょうね!
(上司の方より)

入居者様と挨拶するとき、お話を伺うときなど寄り添う姿勢を忘れず、笑顔で接するように心がけています。入居者様が私たちの知らないことを教えて下さるときの一生懸命な姿や会話しているときに自然な笑顔が見られることも嬉しく思います。認知症の入居者様と日々接しているため、不安な時も一緒に考え、少しでも不安な気持ちを和

利用者様と関わるうえで大切にしていること

寄り添う姿勢を忘れず、笑顔で接する

グループホーム リブレ松川
須藤 淑子 さん



好きな食べ物
シャインマスカット、トマト

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

らば、安心して生活していただくと思います。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は大変なことも多いですが、利用者様とのかかわりの中で「ありがと」と感謝の言葉をかけていただくたび、

変則勤務のため毎日メンバーが入れ替わりながら入居者様のケアにあたっているため、情報共有が大事だと思っています。お互い声を掛け合い、日々の変化やケアのアイデアなど何でも話せる、言い合える関係性を作っていくため自分から率先してコミュニケーションを取るようにはしています。同年代が多い職場でもあるのでお互い助け合いながら、入居者様を交え楽しく過ごさせてもらっています。

自分の励みになり、頑張る力が湧いてきます。私も介護の仕事を始めるときは分からないことがたくさんあり、何度も確認しながら勉強してきました。介護の必要な高齢者の生活を支える責任も大きいですが、こんなにも感謝される仕事は他にないと思います。いろいろな方と接することができる楽しさを感じながらこれからも一緒に頑張っていきたいと思います。





ココがキラリ!

どんな時も笑顔で入居者様と向き合っている高木さんの姿は、入居者様一人ひとりの生活を考え、笑顔で過ごしやすい環境を作ってくれていると感じています。

(上司の方より)

入居者様と関わるうえで大切にしていること

入居者様一人ひとりにあつた適切なケアを行い、信頼関係の構築に努めています。毎日を安心して楽しく、笑顔で過ごして頂けるように心がけています。

また、入居者様と日々関わっていく中で、「変化」に気づくことを大切にしています。体調の変化はもちろんですが、生活上の問題やニーズは表情や口調、雰囲気などに現れることもあるため、普段から気づきを意

特別養護老人ホーム 星風苑

高木直美さん
たかぎ なおみ

「変化」に気づくことを大切に入居者様と日々関わる

識して入居者様に関わるようにしています。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

ユニットだけではなく棟全体で細やかにコミュニケーションをはかり、常に入居者様に合った適切なケアを提供できるように情報共有を大切にしています。週休3日制という働き方を導入して休日が増えた一方で、職員同士が顔を合わせる機会が限られる場合もあります。入居者様のケアに関する情報が途切れることなく、棟全体で共有できるよう私自身も申し送りや職員同士のコミュニケーションを大切にすることを心掛けています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は重労働というイメージがありますが、決してそうではありません。入居者様と



好きな食べ物

岩がき



関わりケアをさせて頂く中で、入居者様の笑顔や感謝の言葉を頂いた時は、心から介護の仕事頑張ってきたと思えます。肉体的に大変な部分もある仕事ではありますが、人として心から成長できる、やりがいのある仕事だと思えますので一緒に頑張っていきたいと思います。



ココがキラリ!

一緒に働く中で安心して仕事を任せられる存在です。利用者様や職員を含め周りの人達に対する目配り、気配りが良くできていると感じています。それが皆さんの笑顔に繋がっているのではないかと思います。(上司の方より)

利用者様と関わるうえで何よりも「笑顔」と「安心」を大切にしています。私はよく利用者様に、「その笑顔が良いない」「いつもニコニコだね」と褒められることがあります。私の笑顔で、心配になっていること、不安なことなど少しでも安心に変えられるように努めています。また一人ひとりの変化に気づき、細かな配慮や気配りを忘

利用者様と関わるうえで大切にしていること

特別養護老人ホーム さくらの里
西^{にし}牧^{まき}なるみ^{さん}

「笑顔」と「安心」を大切に細かな配慮や気配りを

れず、安全・安心に生活していただけるよう支援しています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員同士(様々な専門職の方々)と細かなことでも報告、連絡、相談をし、一つのチームとして利用者様に安心して生活していただけるよう、情報共有をしっかりと行うよう意識しています。その為には、何でも相談でき、話せる存在になれるよう自分から積極的にコミュニケーションを図っています。お互い理解を深めることで色々な情報が集まりより良いケアに繋がると感じています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は、正直辛いこと大変なことなどマイナスイメージが大きいかと思われま。しかし、それ以上にとてもやりが



好きな食べ物

たこ焼き、
クラムチャウダー

いがあり、感謝される仕事だと思っています。私は利用者様から小さなことでも「ありがとう」と言われると、辛いことがあり、落ち込んでいても頑張る活力に繋がっています。人と人との対人関係の仕事なので、不安なこと心配なことなどあると思いますが、助けてくれる先輩は必ずいます。皆さんもぜひ、介護の楽しさを一緒にみつけてみませんか。





ココがキラリ!

常に入居者様を一番に考え、明るく前向きに関わりを持っている。難しい問題があっても、根気強く、丁寧に対応する姿に安心感を覚えます。その人らしい暮らしの継続が送れるよう、ケアの実践に努めてくれています。

(上司の方より)

利用者様の目線に立ち、笑顔で接すること、目を見て話すことを意識しています。基本的なことかもしれませんがマスクをしていると、特に目を見て話さない、相手に不安を与えてしまいかねないと思っています。会話の際もペースを合わせ、共感、傾聴することであるべく不安にさせず、安心していただけるよう心掛け日々のケアに携わっています。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

相手に不安を与えないよう目を見て話す

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

一緒に働く職員が安心して働けるような、私と一緒に良かったと思ってもらえるよう、普段から密なコミュニケーションをとることを心掛けています。どんなに小さなことや疑問も気になつたら、共有し、相談し、話し合える環境を整えチーム全体で問題解決を目指します。またコミュニケーションを図る上で、話し方や伝え方にも普段から気を付けています。

若手職員へメッセージ

私自身、偉そうなことをいえる立場ではないですが、まず介護の仕事に興味を持ってもらえたことを大変嬉しく思います。介護の仕事は精神的にも、身体的にも辛いことも多いです。しかし、毎日、色々な発見があり、それ以上のやりがいや楽し

特別養護老人ホーム ほほえみ

長谷川 彩 愛さん



好きな食べ物
からあげ、ラーメン

さ、感動に溢れており、自分を成長させてくれる機会が多くあります。利用者様が自分らしく笑顔で過ごし、介護職員も日々、笑顔で働けることを願い、皆で励み「自分の介護」を創っていきましよう!





ココがキラリ!

人の気持ちがわかる人で、人柄も素晴らしいです。利用者様とふれあっている姿を見ると、介護の仕事が本当に合っているんだと感じます。周りに良い影響を与える「笑顔」をこれからもたくさん振りまいてください。

(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様の気持ちに寄り添い、笑顔で接することです。今、何をしたいのか・何をしたいほしいのか、その希望を多く叶える事が出来るよう努めています。利用者様の中には言葉では伝えられない方もたくさんいるため、毎日の表情や仕草などから理解をしています。その希望が叶ったときに笑顔が見られると私も自然と笑顔になります。

利用者様の笑顔で私も自然と笑顔になる

す。これからもその笑顔をたくさん見られるよう支援していきたいと思えます。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

相手がどんな考えを持って介護をしているか考えることです。一人の利用者様に対し、十色の考え方があります。職員全員が利用者様のことを考えているからこそさまざまな考え方があり、その考えを利用者様の希望に添いながらひとつにまとめることは大変です。利用者様の1日をつないでいく仕事だからこそ、職員の考え方や気持ちを考え大切にしていきたいです。

若手職員へメッセージ

多くの人が介護の仕事は大変というイメージがあります。実際、多くのことを考え、体を使う仕事のため心身共に大変な時

特別養護老人ホーム
南東北グランプラス八山田

はせがわ
長谷川 桜子 さん



好きな食べ物

白米

もあります。しかし、利用者様の笑顔を見られた時、「ありがとう」と言ってもらえた時、職員同士での思いが一つになった時、何よりもやりがいのある仕事だと感じる事ができます。始めは不安なことがあったり、嫌な思いをすることがあるかもしれませんが、先輩職員になんでも相談してください。きっと同じ悩みを持っていたことがあると思います。一緒に楽しく介護の仕事をしていきましょう!





ココがキラリ!

キラリふくしま介護賞受賞おめでとうございます!! 誰にでも優しく、丁寧な対応で接し、みんなからも信頼されている存在です。今後もスキルアップしながら、さらなる活躍を期待しています。一緒に頑張りましょう!!
(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様と接する時、声のトーンや表情などに気を付けています。慣れない環境で不安になったり、寂しい気持ちになることもあると思いますが、少しでも安心してその人らしい生活が送れるよう、笑顔で接しています。また、コミュニケーションを積極的に取るよう心掛けています。他愛もない会話ですが、利用者様と過ごせる大切な

特別養護老人ホーム コクーン

原 はり

彩 あや
花 か
さん

利用者様と過ごせる大切な時間を笑顔で

時間です。今後も利用者様の気持ちに寄り添いながら、丁寧に接していきたいです。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

利用者様の様子や気づいたことなど些細なことでも報告し、職員同士で情報を共有しています。小さなことでも話し合い、日頃からコミュニケーションを取ることで、話しやすい環境になり業務がスムーズに行えると思います。今後も報告・連絡・相談をしっかりと行い連携を取りながら業務を行ってまいります。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は大変というマイナスなイメージを持つ方が多いと思います。実際私もそう思っていましたし、入社してからもいろいろなきっかけがありました。



好きな食べ物

ラーメン

でもその分やりがいも多く、達成感がとてもある仕事だと思います。利用者様に「ありがと」と言われると、頑張ってきたなと嬉しい気持ちになるし、また頑張ろうと思えます。慣れるまでは大変なことも多いと思いますが、初心を忘れず、思いやりの気持ちを持って利用者様と接していければいいと思います。





ココがキラリ!

「笑顔」「前向きな行動力」「探求心」等沢山あります。檜澤さんの「やってみよう」という言葉に背中を押してもらった場面が沢山あります。仕事もプライベートも前向きな姿は私の理想です。いつも頼りにしています。
(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

「困った」ではなく「すごい」に変えて捉える

グループホームすずらん紡
檜澤友視さん

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

ことで、利用者様も自分自身も楽しんで、そして何倍も楽しい時間になると思っています。

若手職員へメッセージ

辛い事、投げ出したくなる事

ユニットリーダーをしている現在のチームはとても個性豊かで、それぞれに得意な分野があり、また欠けている部分もあります。それをお互い理解し、補い合っているバランスの取れた良いチームです。職員から入居者様の為にこんなことがしたいという案が出た時は、実行できるようにチーム全員で作り上げていきます。入居者様のいつもとは違う笑顔や楽しそうな姿は職員みんなの成功体験となり、それを重ねていくことでチームの絆を強く出来ると考えています。

もあると思うのですが、それを超えた時に見える風景が必ずあるのが介護の仕事です。残念ながら命は無限ではありません。私は縁があり出会えたその方の人生に、ほんの少しでも彩を添えられる存在になれたら、いいなと思いつながら働いています。人の人生に関わるのは簡単ではありませんが、逆に考えれば関わることが出来る唯一無二の仕事だと思いませんか。介護の仕事は夢も未来もある仕事だと思っています。素敵な援助者になってください。



好きな食べ物

辛い物・香辛料が大好きです。タイ料理、韓国料理、四川料理、そこにパクチー山盛りなら最高です。





ココがキラリ!

利用者様に対し、利用者様に沿った楽しめる行事やレクリエーションを実施して下さります。サブリーダーとしてユニット内でも新人職員の育成・指導も出来ています。現在妊娠中ですが復帰後の活躍施設全員で楽しみにしています。
(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様と接する際、最も大切にしている事は「コミュニケーション」です。

言葉だけでなく、表情や態度にも気を配り、利用者様が安心して心を開ける環境を作ることが心がけています。相手のペースに合わせ、聞き手に徹することで、信頼関係を築き、より良いサポートができると考えています。日々の小さな対話が、利

特別養護老人ホーム 孝の郷

三浦美佳さん

言葉だけでなく、表情や態度にも気を配る

利用者様の気持ちを支える大きな力になると信じています。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

職員同士のチームワーク向上のため、気配りを大切に行っています。チームメンバーの状況や気持ちを察し、積極的にサポートすることで、働きやすい環境作りを心がけています。困っている人がいれば声をかけ、意見やアイデアも積極的に聞くようにしています。お互いを尊重し、協力し合うことで、よりチームワークが強固になると思います。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は心身ともに大変ですが、人々の生活を支える大きな意味があります。何かに悩んだり、辛くなったりすることもあります。同じ現場で働



好きな食べ物
お寿司

ている仲間と一緒に乗り越えられるはず。私は子育てをしながら働いていますが、子育てしながら柔軟に働ける環境も整っています。これからも無理せず、お互いを支え合いながら、長くこの業種で活躍していきたいよう、一緒に頑張ってください!





ココがキラリ!

佳愛さんは、可愛らしく親しみのある雰囲気から利用者様、職員問わずみんなから愛されています。仕事面ではサブリーダーを任命され、信頼も厚いです。

日々何事にも前向きに頑張っており、期待の職員です。
(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

「ショートステイに来てよかった」「楽しかった」と利用者様に言っていただけのように日頃から明るく笑顔でコミュニケーションを取ることを心がけています。その中でちよっとした体調の変化に気づいたり、不安な気持ちがあっても和らいで安心して過ごして頂ければと思っています。また、業務では行事やレクリ

もっと利用者様の笑顔が見られるように

水口佳愛さん
みずぐち かのあいさん

特別養護老人ホーム ファミリー

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

エーションを増やしていき、もっと利用者様の笑顔が見られるようにこれからも取り組んでいきたいです。

若手職員へメッセージ

私が介護の仕事をはじめたばかりの頃は、覚える事が多く利用者様から怒られることもあり、

忙しい時こそ、職員同士協力し合い、声を掛け合いながらコミュニケーションを図り利用者様にも安心して笑顔で過ごしていただけるような環境作りをしていきたいです。

分らない事や困ったことがあれば一人で抱え込まず周りの職員に積極的に聞いて、実行してみることが大切だと思います。介護は利用者様の命を預かっている責任も大きく、体力面でも精神面でもきつくなる事もあります。でも利用者様からの感謝の言葉や笑顔を見ると、やりがいを感じられる素敵なお仕事だと思うので一緒に頑張りたいです!



好きな食べ物
韓国料理



ココがキラリ!

いつも穏やかで丁寧に入居者様へ接しています。素直で真面目な性格で、じっくりと入居者様の話の聞いているのが印象的です。嫌な顔せず、スタッフへ協力してくれる頼りがいのあるスタッフです。
(上司の方より)

吉原

翼さん

介護付有料老人ホーム 多生苑西栄町

相手の変化に気が付ける目を鍛える

利用者様と関わるうえで大切にしていること

認知症があっても寝たきりでも、感情は必ず残っています。そのため、私はどんなに忙しくても、できるだけ表情に出さないうようにし、入居者様の声に耳を傾けられるように意識して業務に取り組んでいます。また、普段の状態を把握しておくことで、普段と何が違うのかに気付くことができるため、相手の変化に気が付ける目を鍛えることも意識しています。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

経験年数や年齢、今まで働いてきた環境など一人ひとり違う中で、意見をまとめ、介護・看護の方向性を定め、同じ方向を向いて働くのは難しいです。そのため、相手の雰囲気・態度・話し方など、普段の仕事や何気ない世間話の中で、コミュニケーションを図り、意見を言いやすい関係作りを心がけています。また、仕事に真剣に取り組む姿勢や対応などを見てもらうことで、他職員からの信頼を得ることも、コミュニケーションの円滑化・チームワーク向上につながると考えています。

若手職員へメッセージ

実際に介護の現場に立った時に、思っていたのと違うと感じる方も多いのではないかと思います。私も、働き始めた頃は先



好きな食べ物

基本的に嫌いな食べ物はなく、種類全般が好きです。



輩職員さんの凄さ・大変さに驚くと同時に落ち込むばかりでした。しかし、経験を重ねていくと、入居者様の感謝の言葉に嬉しくなったり、その方の変化に気付けたときに自分の成長を感じたりと大変さの中にも良いことが沢山あることが分かりました。大変なこともありますが大変なこと積み重ねが成長の糧となり財産となります。何年後かに「あの時に経験したことが今に繋がっているんだ」とプラスに捉えることができたなら、あなたは立派な介護士です。



ココがキラリ!

利用者様と誠心誠意向き合い寄り添う姿は、まさにキラリです。子育てと両立して、ファーストステップも受講され自己研鑽に励んでいます。さらなるスキルアップを期待しています。

(上司の方より)

利用者様と関わる上で大切にしていることは、いつも明るく笑顔で接する事です。また、利用者様とお話をするときは、利用者様のペースに合わせて、寄り添う姿勢を大事にしています。常に安心感を持ってもらえるように、態度や姿勢、言葉かけにも気を付けています。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

いつも明るく笑顔で接する

特別養護老人ホーム 国見の里
蓬田 明美 さん
よもぎ だ あけ み さん

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

日頃から職員同士でコミュニケーションをとる事です。職員が、自分自身の意見や悩みを話しやすい環境を作る事や、チームとしての協調性を大切にしています。利用者様の「報・連・相」と、情報共有を意識し、仕事をしています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は、肉体的、精神的に大変な仕事かもしれませんが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。「どうして自分は介護職員になろうと思ったのか?」、その1番の気持ちを大切にし、利用者様とコミュニケーションを図ることを絶やさず、寄り添う気持ちを忘れないでください。「ありがとう」と返ってくる笑顔と言葉は、利用者様の感謝の思いです。



好きな食べ物

お寿司



ココがキラリ!

「〇〇やってみたくて!」と自ら業務に関わろうとする積極性と、他の職員が困っていることにいち早く気づきフォローする優しさがあります。その積極性と優しさで職員からも利用者様からも信頼の厚い介護士です。
(上司の方より)

利用者様に安心して生活していただけるように、敬意をもって接することを大切にしています。言葉遣いや態度で不安を感じさせることがないように、話し方には注意し、適度な距離を保つことを心がけています。日ごろから、どのように接すれば利用者様に安心して過ごしていただけるかを考えて行動しています。

利用者様と関わるうえで大切にしていること

敬意をもって接することを大切に

渡部友太さん

特別養護老人ホーム あつかし荘

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

チームワーク向上のために心がけていることは挨拶です。チームのために働きやすい環境作りを心がけていますが、環境を良くするためにも挨拶が一番の基本だと思っています。挨拶することで仕事にもメリハリがでて、職員同士のコミュニケーションも取りやすくなり、チームとして働く意識も高まると考えています。そのような環境で働くことができますと、利用者様にとっても安心していただける介護が提供できると思います。

若手職員へメッセージ

最初の1、2年は覚えることがたくさんあり大変だと思いますが、そのようなときはぜひ身近にいる先輩や上司に何でも相談してみてください。1人で考



好きな食べ物
ラーメンが好きです。

えていると判断がつかずわからなくなることもありませんが、わからないことはわからないままにせず、その都度解決していくことが皆さんの成長につながっていく第一歩だと思います。先輩方からのアドバイスは、経験してきたからこそ得られたものであり、きっと皆さんの力になります。これから皆さんが活躍できるように応援しています。





ココがキラリ!

渡部祐実さんは、どなたに対しても丁寧に指導・助言を行い、後輩育成に尽力されております。利用者様からの信頼も厚く、何事にも真摯に向き合い取り組んでおります。また、働きやすい職場づくりを目指して頑張っております。(上司の方より)

利用者様と関わるうえで大切にしていること

日々のコミュニケーションを通して、利用者様の表情や顔色、仕草など些細な変化に目を向けてその方に合ったケアができるよう心がけています。利用者様一人ひとりの性格や生活歴、疾病など抱えている問題が異なります。それを踏まえた上で毎日のコミュニケーションから信頼関係を築き、その方が何を必要としているのか、どうし

養護老人ホーム 希望ヶ丘ホーム

渡部祐実さん

毎日のコミュニケーションから信頼関係を築く

たら毎日元気に生活を送っていただけるのかを考えながら支援をさせていただいています。

職員同士のチームワーク向上に心がけていること

何でも話しやすい環境を作ることです。利用者様のケアで忙しい日々ではありますが、些細なことでも情報を共有することで、質の高いサービスの提供につながると考えています。特に新人の頃は、初めてのことがばかりで、悩みや困りごとが沢山あると思いますので、一緒に解決できるような積極的に話しかけ、話を聞く場を作ること意識しています。これからもチームワークを大切にしながら利用者様の支援に努めていきたいと思っています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は大変なことも多



好きな食べ物
オムライス

が日々の励みになっています。この仕事だから学べるのが沢山あります。利用者様から教えていただくことも多く、支援の中で日々勉強させていただきました。新人の頃はうまくいきませんが、できないことで悩むことがあるかと思いますが、そういったときにはひとりで抱え込まず、いつでも先輩方に相談してください。みんなが助け合いながら、より良い支援を目指していきましょう。





介護施設表彰 概要

働きやすい、働きがいのある、働き続けたい職場づくり等、
労働環境及び処遇の改善等について、
優れた取組を行っている介護施設等を表彰します。

対 象

- ①労働環境及び処遇の改善（働きやすい、働きがいのある、働き続けたい職場づくり）等について、優れた取組を行っている福島県内に所在する施設等。
- ②施設等の名称及び取組内容について公表可能な施設等。
 - ア 継続性（一過性のものでなく継続的な取組）
 - イ 独自性（先行事例に工夫を加えた取組）
 - ウ 先進性（介護を取り巻く環境の変化を見据えた取組）
 - エ 展開性（多くの施設等への横展開が期待できる取組）
 - オ 模範性（他の施設等において模範となる取組）
 - カ 一体性・全体性（職員全員に取組の意図や内容が浸透している取組）
 - キ 実績・成果（必要に応じ取組内容の見直しが行われ、働きやすく、働きがいのある職場づくり、職員の入職増及び定着、利用者の満足度の向上につながっている取組）



介護施設表彰

受賞施設5施設を紹介いたします

※写真は各施設より提供されたものを掲載しております。
撮影時のみマスクを外しております。



介護職員
伊東 雅



介護職員・ユニットリーダー
若林 孝善



介護職員・チーフ
松崎 大輔



介護サプリーダー・育成委員会委員
佐藤 希



介護リーダー
角皆 知宏



施設長・マネージャー
鈴木 佐登子

キャリアパス（一部抜粋）

ステップ1(初級)	ステップ2(中級)	ステップ3(上級)	ステップ4(特級)	ステップ5(チーフ)
3年	5年	5年	5年	5年
各部署ごとの、通常業務を上司・先輩の指示の元処理できる。	各部署ごとの通常業務を自分自身で処理できる。後輩につき、新人を教えることができる。	通常業務に加え、後輩の指導を担当できる。	自分の部署の複雑な判断を要する業務を処理できる。	他部署に協力をお願いするような複雑な判断を要する業務を処理できる。

特別養護老人ホーム
カーサ・コリーナ（本宮市）

人事考課と連動する
キャリアパス制度と
手厚い新人フォロー

取り組みを行ったきっかけ

入職した新人職員の
孤独感を払拭する

人財確保と育成は介護業界全体の大きな課題です。「カーサ・コリーナ」は2017（平成29）年10月に開所した比較的新しい施設で、隣接する特別養護老人ホーム「しらさわ有寿園」から異動で配置された職員も複数が在職しています。その「しらさわ有寿園」では、2009（平成21）年から新人育成や職員教育に取り組み、アセツサー（評価者）講習を受けるなど、個人が目標設定を行う育成型のキャリアパスを進めてきました。

2016（平成28）年には、当時3カ所だった法人全ての施設でキャリアパスの共通化を図るべく「法人育成委員会」を組織。検討を重ねて、人事考課と連動するキャリアパス制度と合わせて2021（令和3）年

施設概要



あさかホスピタルグループのひとつ社会福祉法人安積福祉会が運営する特別養護老人ホーム。完全個室のユニット型で入居者の個性と生活リズムを尊重した「個別ケア」を実践。緑豊かな立地にあり窓からはポニーなどの姿を見ることができる。

から運用を始めました。カーサ・コリーナを含む4施設が、法人育成委員会と連動し、育成にあたっております。法人では2021（令和3）年に3人、2022（令和4）年に7人、2023（令和5）年に4人の新人が入職しましたが、各施設に配属されるのは1〜2人です。新人職員が入職直後から孤独を感じることなく働くことができます。体制をつくる必要がありました。また、「いつかはあんなふうになりたい」と新人職員が思えるロールモデルとなるような職員の育成も重要な課題でした。

具体的な取り組みの内容

習熟度を面談で確認
新技術で負担軽減も

新人職員にはエデュケーターとコーディネーターがついてフォローします。1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・9ヶ月・12ヶ月ごとに「キャリアパス」と「業務習得度評価表」を用いてエデュケーターとコーディネーター同席で面談を行います。「業務習得度評価表」は、覚えてもらいたい業務ごとに細かく項目が分かれていて、「できる」「できない」「どちらでもない」の3段階で評価。技術的な習熟度を可視化することができます。

「できること・わからないこと」がはっきりすると、本人のがんばりにつながりだけでなく周囲が新人職員にどのように関わればいいのか明確になり、成長が見えることで先輩職員の励みにもなります。

さらに先輩職員も参加し3ヶ月ごとの「振り返り研修」を実施しています。実際に仕事を始めてから不安に感じていることを相談したり、新人同士も互いに意見交換をする機会にもなり、モチベーションに繋がります。

また、「カーサ・コリーナ」では、開所当時から職員の負担

軽減と利用者様の安眠のために離床センサーと夜間の状況をリアルタイムで把握できる介護ロボット「眠りスキャン」を導入しています。このシステムではベッドの下に設置したセンサーにより睡眠状態や離床動作などを遠隔からリアルタイムに把握することが可能です。なかには「最新のICTを活用して介護と融合させていることに関心をもったことが入職するきっかけになった」と話す職員もいます。

2023（令和5）年にはパソコン画面でモニターできる「眠りスキャンアイカメラ」も導入しました。今後さらなるICT活用を予定しています。

得られた成果・効果

直近3年間に採用した
新卒者の離職なし！

法人では例年、積極的に介護職養成校の実習を受け入れていきます。その際には実習生と先輩職員がセッションする機会を設けて法人の考え方や取り組みを知ってもらうようにしてきました。介護福祉士実習や社会福祉士実習等で来たことがきっかけで、「ここで働きたい」と心が動いて就職につながった職員が現在、多数在籍しています。「いつでも相談できる人がいる」

「新しくやってみたい提案を受け入れてくれる」職場は、業界に就職を考えている学生にとって魅力的に映るのだと思います。

新人職員だけではなく、実習生を見かけると、それぞれ職員が声をかけている姿が見られます。人材は人財であり、1段階ずつ階段を登るような成長に寄り添うには、あさかホスピタルグループ全体のクレド（行動指針）に掲げられている「心の声に耳を澄ます」ことが大切で、それが職員の中に浸透しています。

また、これまでの職員育成計画と、法人全体で統一したキャリアパスが繋がったことで、新人職員は「なりたい姿」をイメージしやすくなり、自信をもって行動する姿が増えました。

直近3年間「カーサ・コリーナ」



ナ」では新卒者の離職がありません。これが、さまざまな取り組みの成果とも言えます。これからも、一人ひとりの個性に目を向けながら、OJT、Officer、自己研鑽など継続的な学びの場を提供するとともに、働き続けられる職場を目指し「子育てサポート企業」くるみん認定の取得にもチャレンジします。

職員の声

介護はチームワークなので、一人で問題を抱え込んでしまうと出口がみえなくなりがちです。職場で相談できる相手が多いほど働きやすい職場になると思います。新人職員には、不安な気持ちに寄り添って接することを心がけています。介護職員として成長するためにはまず職場での信頼関係を築くことが第一歩です。

介護リーダー
角皆知宏さん

私は誰かを評価をするのが少々苦手ですが、「業務習得度評価表」ができて基準が明確になり気楽になりました。学生の実習や新人教育に携わっていると、成長していく姿を目の当たりにできます。一通りの仕事を覚えて、1年後には夜勤が任せられるようになり、対等に話ができるようになると本当にやりがいを感じます。

育成委員会委員
佐藤希さん

新卒で入職して2年目。同じ学校出身の先輩が働いていることや実習時のアットホームな雰囲気が決め手で就職しました。今年は先輩職員として新入職員の研修に参加しました。ぜひ伝えたいのが「周りの人を頼ってもいいんだよ」ということ。私自身も先輩から言われた「頼られて嫌な人はいないよ」という一言で不安が消えました。

介護職員
伊藤雅さん



介護職員
八島 凜



介護職員
菅野 日陽



ユニットリーダー
佐藤 望美

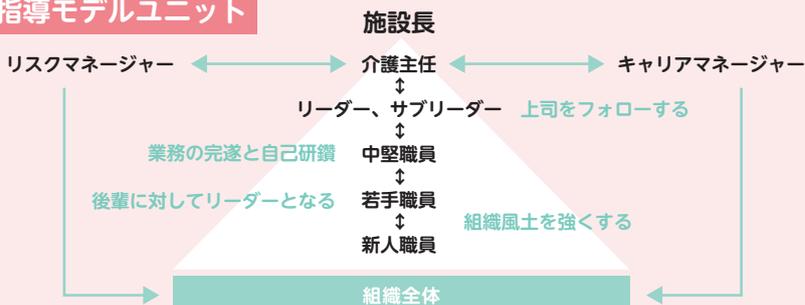


キャリアマネージャー
氏家 善彦



施設長
齋藤 由美子

新人指導モデルユニット



特別養護老人ホーム 孝の郷 (伊達市)

新人教育に特化した
新人指導モデルユニットで
モチベーションを引き出す

取り組みを行ったきっかけ

◆ ◆ ◆
ユニットで異なる
新人の指導方法を統一

「孝の郷」には、シヨートステイを含めて8つのユニットがあります。これまでは新人職員が入職すると、スタッフが不足しているユニットに最初から配属してしまうことがあり、直後から「一人のスタッフ」として業務にあたらなければいけなくなるなど、指導方法が統一されていませんでした。

現在「孝の郷」の離職率は、全国平均や法人内の別施設と比較しても低い状況にあります。新人職員の採用が年々難しくなるなかで若い世代の職員が定着し成長していける取り組みが必要です。

法人では直属の上司である介護主任の他に、組織横断的なサポート役として独自に「キャリアマネージャー」と「リスクマ



施設概要

「孝の郷」は社会福祉法人篤心会が運営する特別養護老人ホーム。「孝」は、親孝行の「孝」が由来であり、子が親を敬うように、職員が入所者様に感謝と尊敬の気持ちを持ちながら、温かみのある生活を送ってもらえるようなユニットケアを行なっている。

「孝の郷」を設けています。研修の実施や教育のアドバイザーである「キャリアマネージャー」の発案で2024（令和6）年に始まったのが、「新人指導モデルユニット」です。新人指導に実績があるユニットリーダー、中堅1人、若手2人のユニットに新人を加えました。新人教育を全てリーダーに任せてしまうと負荷が大きいため、アセッサー（評価する人）として指導役になったのが採用3年目の職員。年齢が近い方がコミュニケーションしやすいのが主な理由です。

具体的な取り組みの内容

★自ら考え動ける リーダーを育てる

指導役の人選基準は、「目標意識の高さ」です。普段から「リーダーになれるようにがんばりたい。施設長になるのが最終的な目標」と前向きに仕事に取り組んでいる姿があり、大役を任せると本人も成長できるのではないかとこの目論見がありました。指導役には、新人が入職する前にキャリアアマネージャーから「教育にあたって気をつけるべき点」や「自己学習の大切さ」を伝えました。特に年齢が近いことで懸念されたのが「馴れ合い」です。指導役が真剣に仕事に向き合い毅然とした態度で新人に関わることで対処できると念押ししました。

高校を卒業してすぐに入職した新人職員は当初「正直3ヶ月でも続けられるか分からない」とキャリアアマネージャーに不安を漏らしていましたが、指導役の明るさの影響もあって少しずつ仕事中に笑顔が見られるようになっていきました。「介護の仕事は最初に思っていたイメージとは違うことがあった。たいへんなこともあるけれども、今はがんばって続けていきたいと思う」と話し、かけがえのない

戦力になっていきます。

今回の取り組みをきっかけに「新人職員指導マニュアル」の見直しを図り、キャリアアマネージャーとの面談を新人だけでなく中堅職員にも実施して、ユニットリーダーに情報を共有しました。さらに全職員を対象とした「次世代に向けたアンケート」で今後希望する研修の把握や職場環境、上司との考えのズレを把握。アンケート結果から課題を見つけ出し、ユニットにフィードバックしています。2024（令和6）年には「孝の郷」単独では初めて「中堅職員研修会」を半年間にわたり実施。リーダー、サブリーダーに求められる役割について、その候補者が自ら考える機会を設けました。

得られた成果・効果

★明確なステップが キャリアの励みに

「中堅職員研修会」を受講したのは8名。「誰かが指示してくれるだろう」という考えから「自分たちが判断しなければならぬ」という意識に変えていくことが研修の大きな目的で、今回の研修後に2名がサブリーダーに昇格しました。キャリアのステップが明確になったこと

は、新人も若手職員にとっても励みになっている様子です。

新人指導役について3年目の職員は、「人に教えることで自分の知識や技術がまだまだ不足していることに気づいた」と話しています。70人の高校生相手に「福祉の仕事」について講義する大役も見事にこなしました。介護職員実務者研修を経て、介護福祉士国家試験合格を目指し奮闘し成長しているところですよ。

「孝の郷」では、高校2年生からアルバイトを受け入れています。次年度は、アルバイトで来ていた学生がそのまま就職してくれることになりました。介護の仕事に関心をもってくれた若い世代が、「ずっとここで働

きたい」と思ってくれて活躍できる職場環境づくりをこれからも目指していきます。

職員の声

菅野さんは仕事の覚えが早く今後期待できる存在です。利用者さんと笑顔で接している姿もよく見かけます。新人の指導には適任だと思いました。私自身、最初に勤めた介護の職場では孤独感が強く退職した経験があります。縁あって「孝の郷」に来てくれた人は、大切に育成したいと心に決めています。

すずらんユニットリーダー
佐藤望美さん

佐藤リーダーに教えてもらったことを引き継ぐつもりで新人教育にあたりました。やがて自分の知識や技術の不足を自覚するようになり、「もっと勉強したい」と思うようになりました。外部研修に参加する機会も増えたので、利用者さんへの対応などについて、いろいろな見方や考え方を学ばせてもらっています。

介護職員（3年目）
菅野日陽さん



不安いっぱいに入職しましたが、めったに笑わない利用者さんの笑顔が見られたりするとうれしくなり仕事が楽しいと感じます。佐藤リーダーに質問するといつも「聞きたいこと」の答えが返ってきますし、日陽さんは年が近いのでいろいろ共感してくれます。介護が好きになれたのは、この職場だったからだと思います。

介護職員（1年目）
八島凜さん



介護職員
田代 裕子



リーダー兼介護職員
菅野 愛美



介護職員
相原 伸康



管理者兼計画作成担当者
原 拓里

SNSツールの活用でご家族や地域とつながる



認知症対応型共同生活介護
グループホームすずらんあかり
(須賀川市)

コロナ禍で途絶えた
家族や地域の方との
つながりをもう一度

取り組みを行ったきっかけ

入居者様の笑顔で
職員も笑顔になる

新型コロナウイルス感染症が蔓延するまで「すずらんあかり」の職員は、入居者様と一緒にご実家まで出かけたり、お墓参りをしたり、地域の中での暮らしを大切にしてきました。

「あなたとアイスクリームが食べたかったの」という入居者さんと買い物でかけた先で一緒にソフトクリームを食べたこともあり、ご家族やお知り合いとの面会も自由にできていました。

しかし、2020年1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてからは、感染症対策のために人との関わりを制限せざるを得なくなり、当グループホームでも一時新型コロナウイルスのクラスターが発生し、ご家族との面談

施設概要



特定非営利法人豊心会が2018年に開設したグループホーム。原則として須賀川市在住の方を対象とした地域密着型サービスで要支援2、要介護1～5で、常時医療行為が必要ない方が利用できる。利用定員は18人。令和6年11月時点の平均介護度は1.8。

は減圧装置のある会議室でのみ行うようになりました。

コロナが5類感染症になった2023年、以前は当たり前であった日常を取り戻していきこうと、あらためて「ご家族や地域の方との出会い、つながりを大切に」取り組みを始めました。

入居者様たちが日々の生活を楽しみ笑顔になる場面を増やすことは、職員にとって働きがいのある職場づくりにつながります。感染症対策に配慮しながら、家族会を開催するなど少しずつ交流の機会を増やしていき

具体的な取り組みの内容

LINE WORKSなど SNSツールを活用

ご家族への連絡は、電話や手紙だけでなく、ビジネス版のLINE「LINE WORKS」をタブレットに入れて活用しています。電話でご家族に連絡すると職員が退動した後に折り返しの電話が来ることも多く意図が伝わりにくいこともありました。「LINE WORKS」を活用すると連絡した内容が記録に残せて後から見返すことができるのでご家族からも「便利になったね」と好評です。さらにInstagramで入居者様の様子を紹介。お天気がいからと屋外で食事をする様子や近くの八百屋まで買い物に行った様子を紹介して遠くにいる親族にも元気な様子が伝わるようにしてきました。

2023年12月には、ご家族も参加して杓と臼で餅つきして「世界に一つだけの鏡餅づくり」のイベントを開催しました。みんながひとつずつ餅を丸めることで「それぞれ違う形になるのがすてきだよ」と言い合いながら、入居者様とご家族で鏡餅を飾り新年を迎えました。

2024年10月の「芋煮会」は、家族だけでなく近所の方、

職員の子どもの中学生も参加してにぎやかに行われました。

さらにその様子を若い世代のご家族がYouTubeでライブ配信。イベントに参加できなかったご家族にも楽しい雰囲気をお届けしました。楽しい雰囲気をお届けしました。楽しい雰囲気をお届けしました。楽しい雰囲気をお届けしました。

地域の方には、避難訓練にも協力いただいています。災害対策と一緒に考えるために消防訓練の実告知チラシを近所に配布したところ、町内会と老人会の方も参加してくれて、一緒に消火器の使い方を学んでくださいました。

得られた成果・効果

家族や地域の人が頼もしい応援団に

出会い方、つながり方はさまざまですが、一人ひとりが社会資源であり、社会参加する場を作り続けていくことが私たちの役割であると思っています。

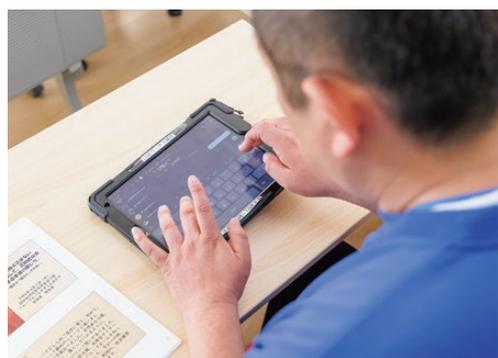
「ようやくコロナが落ち着いたから」と遠方から入居者様に会いに来てくれた友達とおしゃべりして「百歳までがんばろうね」とうれしそうに約束をしている姿を見ると交流できること

の大切さを改めて実感します。

入居者様と一緒に買い物する八百屋さんは、すっかり顔なじみになって店内でお茶を飲んで休憩してくるようになりましした。近くのパン屋さんにも買い物に行きますが、毎月2回はグループホームにも来てくれるようになり、みんなが気持ちにしています。

「グループホームがどんなところなのかわからない」という人はまだまだたくさんいます。利用者さん同士、スタッフと利用者さんだけでなく、いくつもの人間関係がゆるやかにつながりながら共同生活していることを多くの人たちに知ってもらおうことで地域の中で支えてくれる人を増やしていけるはずですよ。

「LINE WORKS」の活用



ご家族とのやりとりがスムーズになり、Instagramの動画で話題の共有ができるようになったことご家族と職員の距離が縮まって以前よりも気軽に意見や相談ができるようになったと感じています。これからも多くの世代が集まるイベントなどの機会を設け、出会いの場をつくっていく予定です。



職員の声

コロナ禍で中断していた交流イベントが復活したことで、入居者様のご家族や地域の方たちが来てくれるようになりました。「餅つき」や「芋煮会」は大いに盛り上がり、入居者様の笑顔を見ることができたのをうれしく受け止めました。多くの方たちが協力してくれることで、業務遂行もしやすくなったと思います。

介護職員
相原伸康さん

日常的に近所の八百屋さんまで入居者様と一緒に出かけしています。「買い物」という目的があると足取りが軽くなるようです。お店の方には「認知症」について理解していただいている休憩コーナーでおしゃべりして帰ってきます。施設の外のサポーターを増やすことで職員ができることも増えると実感しています。

介護職員
菅野愛美さん

特別養護老人ホームに約20年勤務後、ここで働き始めて認知症の方との関わりについて深く学んでいるところです。人手と時間に余裕があればもっとできるものがあるのと思うこともありますがLINE WORKSの活用でご家族とのコミュニケーションがスムーズになりました。

介護職員
田代裕子さん



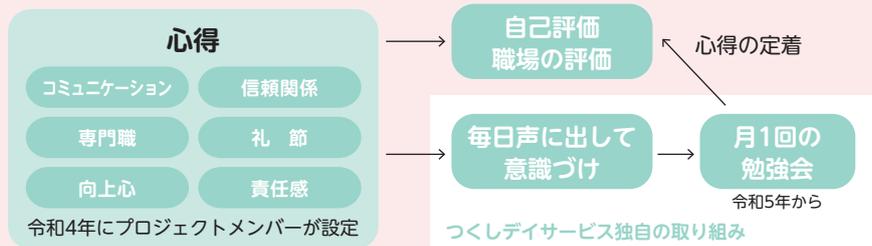
生活相談員兼介護員
小川 彩

介護職員
橋元 有美

介護職員
近内 麻里

管理者兼生活相談員
須藤 由花

心得プログラム



通所介護
つくしデイサービス (須賀川市)

法人共通の「心得」の
内容を職員一人ひとりが
具体的に掘り下げ発表

取り組みを行ったきっかけ
受け身になりがちな
反省を踏まえて

「理想の職場環境の実現」「働いていて気持ちの良い会社」を目指して、豊心会では令和4年から法人全体で「心得プログラム」を運用しています。「心得」作成にあたって法人のプロジェクトメンバーが「コミュニケーション」「信頼関係」「専門職」「礼 節」「向上心」「責任感」と6つの柱を設け、それぞれに細かく25のチェック項目を設定していきました。

例えば、「コミュニケーション」の柱に対しては「仕事の仲間として、良いときは良いと、悪いときは悪いとお互いに言うことができる」「自分と違う意見や考え方を持っている職員と話し合える」「自分の考えを利用者様ご家族、職員に分かるように伝えることができる」「周囲への気配

施設概要



認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生きるために「在宅」「通所」「居住型」「介護タクシー」のサービスを行う特定非営利活動法人豊心会のデイサービス。要支援1~2、要介護1~5の方が利用できる。職員数は16人。利用定員は28人。

りや話しやすい雰囲気を作れる」「相手の話に関心を持って聞いている」の5項目があります。「つくしデイサービス」では、25のチェック項目から毎日ひとつを選び、職員が声に出して読むことで、意識づけをしてきました。また、毎月1回は25項目の職員による自己評価と管理者による評価を行い、点数化した結果を法人で共有しています。

業務に追われ「誰かが教えてくれる」と受け身になりがちな状況を踏まえて「心得」を自分たちなりに掘り下げてもらうために、令和5年からは月1回の勉強会を始めました。

具体的な取り組みの内容

自由に選んだ項目を深く 調べて職場で共有する

勉強会の発表者は管理者がラウンドを選び、自分が関心のあ
るテーマを自由に選んで発表し
てもらいます。発表時間は6〜
7分程度。事前に自分なりにま
とめた資料も作って配布します。

第1回はコミュニケーション
「相手の話に関心をもって聞い
ている」の項目がテーマに選ば
れました。「声のトーンや表情、
仕草など五感を使い相手に意識
を向けて話を聴く。なにより相
手に興味を持つことが大切」と
職員が紹介すると、「参考になっ
た」という声が相次ぎました。

他に、これまで「反響が大き
かった項目は「仕事の仲間とし
て良いときは良いと、悪いとき
は悪いとお互いに言うことができ
る」というテーマです。発表
では「ただダメと言うのではな
くどうしてその対応をしたのか
を確認」「どんな対応が良かった
のかを一緒に考える」「誰かの対
応が良かった時には自分も真似
をしようと思ったことを伝え
る」などの対処法が紹介されま
した。発表した職員は「この項
目ができると利用者さんの安
心、満足につながり、職員間の
信頼関係を築くことができる」

としめくり、他の職員からは

「これまで職場の同僚の言動を
指摘できないもどかしさを感じ
ていたので参考にしたい」「他の
人の良いところを見つければ
大事だと思った」といった声
が聞かれました。

「勉強会は誰かがやってくれ
る」という意識から、「自分が
誰かに分かりやすく伝えるには
どうすれば良いのか？」に変わ
ると、職員一人ひとりの「心
得」に対する意識が変化してい
きました。発表前に「こんなふ
うに作りましたが、どうでしょ
うか」と管理者に確認にくる職
員が多いですが、どんな発表も
間違いではありません。「職員
同士が高め合える内容を意識し
て」とだけ念押ししています。

得られた成果・効果

誰かの「良いところ」を 認め合えるように

「心得」がスタートした令和
4年は、評価項目であることを
職員が知っていても実際にはど
のように取り組んでいけば良い
のか明確ではありませんでした。
翌年から内容を掘り下げた
ことで多くの気づきがあり、職
員の理解が深まったと思います。
これらの取り組みの成果とし
て大きく変わったのは、イベン

トなどの振り返りでミーティン
グをしている時に、反省点だけ
でなく誰かの「良いところ」が
職員から出てくるようになった
ことです。自分以外の職員の
がんばりを認め、お互いの気持
ちを考えたり、全体を見て助け
合ったり、感謝の気持ちを伝え
合うことが少しずつできるよう
になりました。

利用者様の気持ちを知るため
に行っているカンファレンスで
も、自分とは違う考えの職員に
対して「そういう考えもあるん
ですね。勉強になった」という
やりとりができています。

この仕事は一人ではできませ
ん。チームで協力し合い連携を
とることでできる仕事だと改め
て気が付くことができました。
継続は力なり、「心得は継続



なり」です。忙しくて心に余裕
が無くなると、どんな取り
組みもなし崩しになりがちで
す。そんな時こそ、職員同士が
チームとして支えられるように
「心得」をよりどころとして定
着させて、継続してレベルアッ
プし、デイサービスでの質の高
いケアにもつながっていきたい
と思います。



職員の声

「心得プロジェクト」の発表では「多様
な考え方があるんだ」という気づきがあ
りました。例えば、「五感を使って話を聴
く」という発表では、発表者も限られた
時間の中で利用者様の気持ちに寄り添う
ために試行錯誤していることがわかりま
した。これからも職員同士で学び合いなが
ら楽しく仕事をしていきたいと思ひます。

介護職員
近内麻里さん

心得には「相手の良いところ・悪いところ
も指摘できる」という項目があります。「悪
いところを指摘する」のは苦手なので、「最
初から否定するのではなく、良いところを
認めながら違う部分について伝える」とい
う発表が参考になりました。発表で学んだ
スキルは、職員同士だけでなく、利用者様
やご家族とのコミュニケーションにも活か
したいと思ひます。

生活相談員兼介護員
小川彩さん

私は、第1回「心得プロジェクト」の発表
に「聴く」ことを選んで発表しました。利
用者様にしっかり向き合っ
て話を聴くためにどうすれば良いのかを調
べて発表しました。利用者様は
デイサービスに通うのを楽
しみにしてくれています。職員
同士だけでなく、利用者様と
職員も、お互いに信頼関係
を築くことで、職場の「働
きやすさ」は実現できると思
っています。

介護職員
橋元有美さん



介護職員
岩崎 千加



介護職員
渡部 聖子

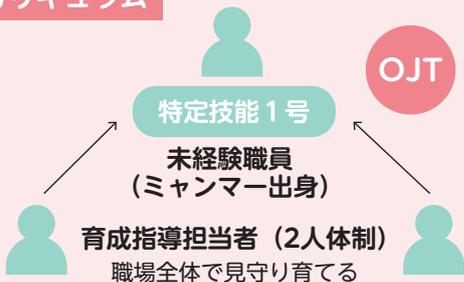


介護職員
門馬 郁子



施設長
川久保 浩美

育成カリキュラム



特定技能1号とは？

介護など16の特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験が必要とする業務に従事する外国人向けの在留資格。

ミャンマー国籍の職員を受け入れるために
育成カリキュラムを整備

取り組みを行ったきっかけ
未経験職員を育成する
体制が職場になかった

東日本震災以降、南相馬市の介護事業所では慢性的な人材不足に悩まされています。新卒者の応募はごく少数で、何らかの対策を講じなければ、今後は地域で介護サービスの提供ができなくなる恐れがある状況です。

そこで当法人では、2022年に初めて「特定技能1号」の在留資格を持つミャンマー国籍の職員を受け入れました。

初年度は特別養護老人ホームとグループホームに計7人を配属。デイサービスは利用者とのコミュニケーションや送迎の運転に不安があるために配属を見送ったのですが、8人を受け入れた2024年にはデイサービス2カ所にも1人ずつ配属されました。

施設概要



1997年当時の原町市、小高町、鹿島町の広域体制で総合老人福祉施設を整備するため設立された社会福祉法人福寿会のデイサービスセンター。併設型通所介護30人、認知症対応型通所介護12人定員。敷地内に特別養護老人ホームやケアハウスもある。

現在、当事業所で働いている職員は施設介護経験者が大半です。夜勤のある特別養護老人ホームから家庭の事情などで日勤のみのデイサービスに移った人など、入職時から高い介護スキルを身につけているため、改めて教育をする機会がないままに長い期間が経っていました。

「特定技能1号」で入国するミャンマー国籍の職員は、日本語能力検定N4（基本的な日本語を理解できるレベル）と技能試験、介護日本語評価試験に合格しているものの全くの初心者であるために改めて教育体制の整備を行う必要がありました。

福寿園デイサービスセンター（南相馬市）

具体的な取り組みの内容

◆◆◆
中堅職員一人に新人の
「育成指導担当」を任命

まずは、事業所にある新採用職員への育成カリキュラムを確認することから始め、デイサービス独自の育成計画、到達目標や育成期間を改めて見直しました。

あわせて、初心者に指導した経験がない職員が何に不安を感じているのか、安心して教育するために職場としてどう支援したら良いのかを聞き取り、洗い出しました。多くの職員から聞かれたのは「コミュニケーションができないのではないかと」という外国籍ならではの懸念です。

実際には「特定技能1号」で入職した職員には1ヶ月間にわたって全員に生活サポートの担当者がついて、日本独自のルールや常識の教育を受けているため「あまり問題にはならないはず」と伝えて「外国籍かどうかに関わらず未経験者に現場で業務を教えるためにはどうすればいいのか」を考えていくことにしました。

新たに作成した育成カリキュラムでは、「基本理念の理解」などの基礎から、排泄・食事・入浴・移乗の介助、リスクマネ

ジメントまで達成基準を明確化。最初の1ヶ月目と、その後3ヶ月ごとに12ヶ月まで評価をチェックして、教育する側・される側双方が一目瞭然に現状を認識でき、双方の認識に齟齬が生じないよう配慮すること等を考慮しました。これにより、現在は誰が教育担当者になっても同じ対応ができるようになっていきます。加えて一日を振り返る「1日の記録」シートも作成しました。

法人内の他事業所では1対1のOJTをしています。当事業所では中堅2人に育成指導担当を任命しました。指導に迷った時に相談し合えることや、教育を担当して成長する人が増えることを期待してのことです。

◆◆◆
得られた成果・効果

◆◆◆
自信を持って職員たちが
教育指導に臨めるように

育成カリキュラムの作成により、これまで育成指導経験のない職員が今回自信を持って教育指導に臨んでいます。カリキュラム作成段階からメンバーとして関わったことで積極的に発言するようになり、責任感も一層増しました。特定技能介護職員の勤務シフトは、基本的に育成指導担当と同一にしています

が、二人の担当者が不在の場合でもカリキュラムを見て他の職員が教育指導を行えるようになっていきます。

指導される側も可視化されたカリキュラムで自身の到達レベルが認識しやすく「1日の記録」を見た育成指導担当者が解決できる事柄は、その日のうちにすぐ対処できるようにしています。

また、1ヶ月目の自己評価で入職者が「できない」とした内容が、指導側からすると「1ヶ月目でここまでできていたら十分」ということもあり、「うれしいです。がんばります」と笑顔が見られることもありました。

教育体制整備のために作成した育成カリキュラムは、現時点



で完成形ではなく、運用する中で変化させていくものであるという認識を教育担当者が持つとともに、疑問や不安が生じた場合には担当以外の職員の意見も聴取し、より実効性の高いカリキュラムに昇華させ、教育体制の充実を図っていきます。

今後も法人は隔年で「特定技能1号」の職員を受け入れる予定で、次なる課題は定着です。

仕事を覚えてくれた職員が、ゆくゆくは同じ母国語の入職者相手にOJTできるように、「この職場で介護の仕事が続けたい」と思ってもらえるように試行錯誤を続けていきます。

職員の声

ミャンマーから来た新人職員の育成を担当することになり、正直自信がありませんでしたが、あらためて自分自身の業務を見直すきっかけにもなりました。また、相手にきちんと伝わるように言葉を選ぶことを意識するようになりました。一生懸命に仕事を覚えようとする新人職員の姿から私たちも学んでいます。

介護職員
門馬郁子さん

私は浪江町の特別養護老人ホームにいましたが震災をきっかけに福寿園のデイサービスで働き始めました。利用者様との交流が楽しくて仕事にやりがいを感じているので、新人職員にもぜひ長く続けてほしいと思っています。「1日の記録」などから、利用者さんの対応に悩んでいる時には一緒に考えるようにしています。

介護職員
渡部聖子さん

デイサービスの利用者様一人ひとりの名前を覚えるために、漢字の読み方を聞かれることもありましたが、普段から外国籍であることを意識することはあまりありません。私たちが同じ職場で働く職員として応援するのはもちろん、利用者様からの励ましや「ありがとう」の言葉を受け止めて成長していったほしいと思います。

介護職員
岩崎千加さん



第5回 キラリふくしま介護賞 授賞式

日時：令和6年11月11日(月) 開式 13時00分

会場：ウェディングエルティ (1F スクエア)

令和6年11月11日「介護の日」に、第5回キラリふくしま介護賞授賞式を行いました。会場には職員表彰29名、施設表彰5施設の受賞者が参加されました。また、授賞式の様子をオンラインでライブ配信(13ヵ所)しました。

当日は知事が出席し、日頃の業務への感謝とねぎらいの言葉とともに、一人ひとりに表彰状が授与されました。受賞者代表の挨拶では、介護職員表彰受賞者の吾妻千恵美様から「利用者様の人生に関われることに、誇りを持って福祉に携わっていきたい」、介護施設表彰受賞者のグループホームすずらんあかり 原 拡里様から「働きやすい職場環境にするために、課題はたくさんあるが今後も考え続けていきたい」と力強いお言葉をいただきました。

受賞された介護職員の皆様、施設・事業所の皆様、おめでとうございます!



主催者挨拶福島県知事



内堀雅雄福島県知事の挨拶

介護職員表彰



参加者29名、全員と表彰状の授与と記念撮影

介護施設表彰



参加施設5施設(7名)、全員と表彰状の授与と記念撮影

受賞者代表挨拶



介護職員表彰 受賞者代表 吾妻千恵美 様によるご挨拶



介護施設表彰 受賞施設代表 グループホームすずらんあかり 原 拓里 様によるご挨拶



第5回 キラリふくしま介護賞 受賞者紹介

発行 令和7年2月

発行者 福島県保健福祉部社会福祉課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

TEL 024-521-7322 FAX 024-521-7917

制作 株式会社 山川印刷所